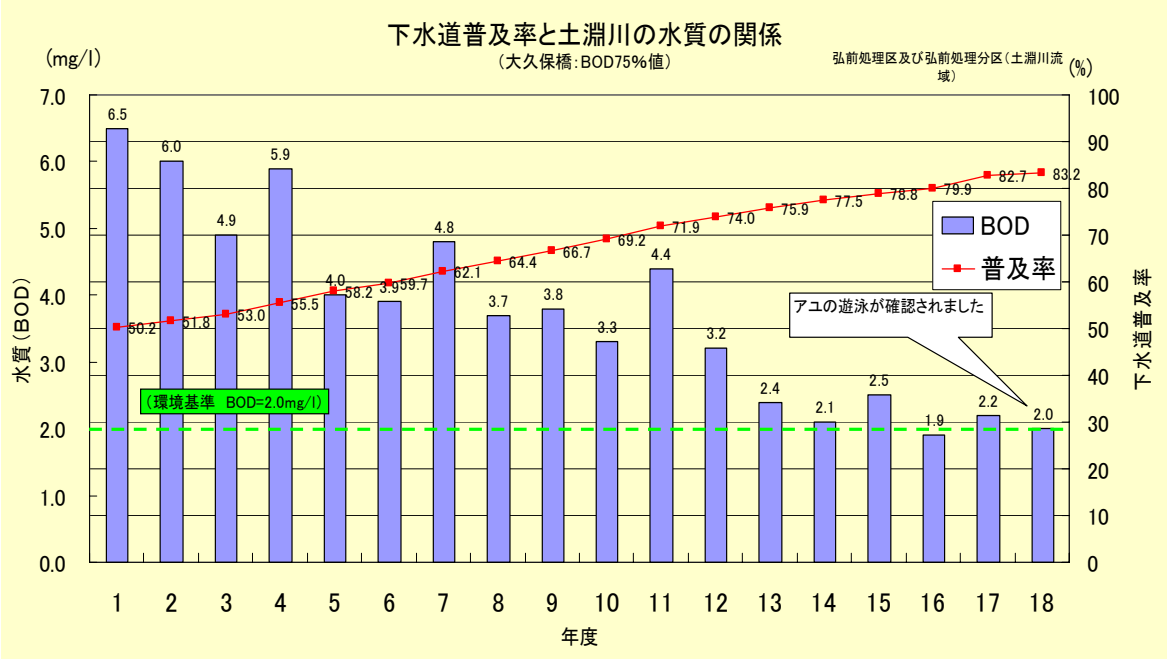
下水道整備効果（汚水対策）事例［青森県弘前市］

土淵川流域を下水道で整備することにより、河川の水質改善が図られ、コイ、カモなどが生息し、秋から冬にかけてはサギの飛来やサケの遡上が確認されている。 また、近年アユの遊泳も確認されている。





アユの遊泳（H18確認）



土淵川河川再生事業（H7-H17）



サケの遡上（S63確認）



サギとカモ（H15確認）

※BOD（生物化学的酸素要求量）とは、水質汚濁を示す代表的な指標で 数値が低いほど環境に良いとされています。